



宮蘭 光 消化器外科・外科医
健康管理センター医師
みやぞの・ひかり
1967年、鹿児島大学医学部卒業。虎の門病院外科、南多摩病院外科、銀座病院院長、井上病院副院長、東和病院副院長などを経て、2006年より三愛病院勤務、健康管理センターにおいて健診を担当。医学博士



宮蘭 千代子 消化器内科医
健康管理センター医師
みやぞの・ちよこ
1970年、千葉大学医学部卒業。虎の門病院内科放射線診断学、神原記念クリニック分科健診センター、新宿久野マインズワーククリニック勤務を経て、2005年より三愛病院勤務。日本内科学会認定総合内科専門医、日本医師会認定産業医



渡辺 保美 健診室室長
わたなべ・やすし
総合エレクトロニクスメーカー勤務の後、2013年11月から三愛病院に勤務、健診室室長

医療法人社団 松弘会
三愛病院
埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17
TEL.048-866-1717 (代)
http://www.sanai.or.jp
診療科目：外科、整形外科、脳神経外科、内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、泌尿器科、麻酔科（長野治和）、呼吸器外科、リウマチ科、心血管外科、皮膚科、歯科、歯科口腔外科

健康管理センター
0120-866-175
TEL.048-865-5300
受付時間：月～土 8:30～16:30



人工音頭画像換
本体形成術、当日
歩行の動きが
わかります

(右上) 320列CTは、従来の3次元空間情報に時間軸情報が加わり4Dにより高速に、細かい画像抽出が可能 (右下) MRI3.0テスラの高精度画像が的確な診断に役立っている



望なら今日中に診断結果がわかります。そして翌日治療することが可能で、短時間でよりよい医療を受けることができます。

医師がすすめる健康法は運動と食事が大事

宮蘭 光 生活習慣病などの予防のためには、運動と食事が大事です。運動は週に5日は1時間程度歩き、他の2日間は強い運動を15分程度行います。食事はバランスよく、腹八分目にしましょう。

宮蘭 千 歩く時は歩幅を大きく、少

し急いだ感じで続けて20～30分は歩きましょう。電車やバスを利用している方は、一つ前の駅や停留所で降りて歩いてください。食事については、朝昼晩と3食をしっかり取り、まず野菜から食べましょう。野菜は生だけでなく煮物でも結構です。

岩本 患者さんの役に立つこととはとてもうれしいことです。これからは皆様の役に立てればと思います。

宮蘭 千 健診で異常値があると患者さんに注意しますが、なかなか実行されなかったりします。そういう方には、だいたいの3カ月後に来ていただきます。次の検査があると、ご本人も注意したことを忘れないし、守ってくれますから。

宮蘭 光 患者さんにはじっくり時間をかけてお話しするよう心がけています。健診を受ける人と、診察する人が同じ立場や目線でやってあげないと駄目です。的確な診断と患者さんへの伝え方

が大事で、医師の一言が患者さんの人生を変えてしまいます。

濟陽 当院では、1993年から血液データを含めた蓄積を行っています。2006年からは画像もデータ化しています。そうした患者さんは21万8000人に及びます。

治せる患者を早く見つけるのが地域密着の病院としての醍醐味

趙 当院では先端機器を24時間稼働体制で動かしています。この地域のみんなの財産ですから、有効に使っていただきたいですね。それが地域中核病院としての使命だと考えています。

岩本 健康維持に多くの方が気を使っていると思いますが、大腸の早期がんはほとんど症状がありませんので、医療機関にご相談なさることをおすすめします。

宮蘭 光 当院では脳ドックをはじめと

する高度健診が比較的リーズナブルに受けることができます。

宮蘭 千 誕生日などで健診を受けられる患者さんが少なくありません。誕生日の前後であれば忘れないうちに、ぜひ1年に2度は健診を受けてください。

渡辺 今後は来院いただいた方にDMをお送りするなどして、定期的に健診を促すようにしたいと思います。健診のデータは、CDで患者さんにお渡しするようになっています。

濟陽 遺伝子検査なども、がんなどの病気にかかるリスクを知るとい意味で大きな役割を果たす可能性があります。ですから、導入を検討していきたいですね。治せる患者さんを検査で早く見つけることが、地域密着の医療を展開する当院としての醍醐味であると思っています。

人間ドック、脳ドック、心筋梗塞予防ドック、乳がん検診ドックなど 新装の「健康管理センター」で 先端機器による総合診療を実践する



情熱医療 健診 プrofessional Doctor
Professional Doctor
清潔感漂う「健康管理センター」受付

医療法人社団 松弘会
三愛病院

「健康管理センター」で予防医学重視の健診を行う

濟陽 2014年は「健診元年」として、病気の早期診断・早期発見・早期治療を行っています。今年2月には「健康管理センター」がオープンし、健診から治療までの一貫診療体制がより充実しました。

宮蘭 光 「健康管理センター」では、予防医学を重視し、人間ドックや脳ドック、心筋梗塞予防ドック、乳がん検診ドックなどを行っています。

宮蘭 千 施設や受付は明るく落ち着いた雰囲気なので、患者さんにはさわやかな気持ちで健診を受けてもらえます。

高度な内視鏡検査と低侵襲の内視鏡治療

趙 当院の場合、組み合わせ自由の

オーダーメイド健診が特徴です。オプションでいろいろ選んでいただくことができます。

宮蘭 光 脳と心臓は二連のものと考えています。脳の検査で動脈硬化が見つかった患者さんの多くが心臓にも疾患を抱えていたりするため、総合的に診療することが大切だと思っています。

渡辺 健診の患者さんは昨年同月比で3割は増えています。

趙 当院ではMRI核磁気共鳴画像法3.0テスラと3.20列CT(コンピュータ断層撮影法)という先端機器を導入し、精度の高い診断に役立っています。320列CTは次世代のCTで、1回転で16cmの範囲を0.275秒で撮影して広範囲の画像の収集が可能です。それは普通車とハイブリッド車ほどの違いがあり、被ばく量を少なくして、高精度の画像を維持することがで

ます。

濟陽 画像の読影力の高さも、当院が誇るもの一つです。放射線科の医師だけでなく、放射線技師や検査技師、担当する診療科の医師や大学教授が2重、3重のチェックを行っています。

岩本 大腸内視鏡検査は痛くてつらい検査と思われていますが、当院で行っている大腸内視鏡検査時間の場合ですと、大腸は肛門から盲腸までの1.5mほどの距離を数分で到達しています。検査全体では10分程度です。あまり怖い検査でないことがわかりただけだと思います。

宮蘭 光 三愛病院では循環器内科や消化器内科、消化器外科、脳神経外科、整形外科などをはじめとする優秀な医師がいて、高度治療を実現しています。

岩本 内視鏡を使ってがんなどの病変を治療する内視鏡治療は低侵襲性治療として知られていますが、当院でも内視鏡による治療を行っています。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、内視鏡的粘膜切除術や内視鏡的粘膜下層剥離術などを行っています。いずれも前がん病変や早期がんに適応されますが、おなかを切らずに治療できるメリットは大きいと思います。

渡辺 例えば今日検査を行って、ご希



濟陽 輝久 理事長
わたやう・てるひさ
1975年、東邦大学医学部卒業。85年、三愛病院設立。97年、医療法人社団松弘会理事長。1993年、埼玉県で先駆けて腹腔鏡下手術を実施。2005年2月に当日立位、歩行可能な人工頸椎置換術を学会で発表している



趙 成濟 放射線科部長
ちやう・なりすみ
1986年、順天堂大学医学部卒業。2000年、順天堂大学医学部放射線科講師、浦安市川市民病院放射線科部長。03年、順天堂大学附属病院放射線科部長。07年、順天堂大学放射線科准教授。12年より三愛病院勤務、放射線科部長。医学博士。日本医学放射線学会認定放射線科専門医



岩本 美智子 消化器内科部長
いわた・みちこ
1990年、大分大学医学部卒業。長崎大学大学院修了後、米国コロラド大学消化器科フェロー、アメリカ国立衛生研究所(NIH)消化器・腎臓病研究所(NIDDK)フェロー、自治医科大学内科学講座・消化器センター講師などを経て、2011年より三愛病院勤務、消化器内科部長。医学博士。日本消化器内視鏡学会評議員、消化器内視鏡専門医